

高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（新施設）の令和6年度実施項目と令和7年度の予定について

高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称、以下「新施設」）については、令和5年度に策定した基本計画に基づき、国営飛鳥歴史公園館との一体的整備に向けて準備を進めているところである。令和6年度の実施項目と令和7年度の予定については以下の通りである。

1. 令和6年度実施項目

【新施設のコンセプト】

「日本のはじまりの地」飛鳥の色彩を未来へ

- 時を超えて文化と風土を旅する
- 国宝高松塚古墳壁画に出会う
- 古墳をつくり、まもった人々を思う

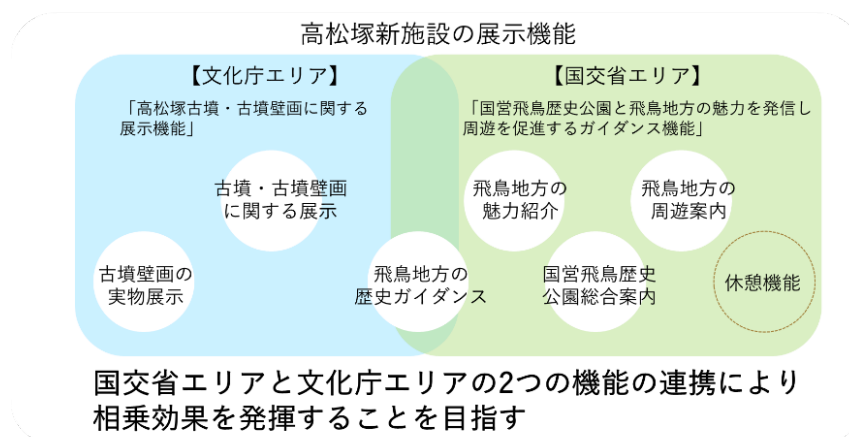
○新施設建築関連

- ・古墳壁画・石室石材保存管理室の要件整理（壁画保管区画、観覧区画）
外気の影響を受けにくい二重構造、変温恒湿度にて管理
災害対策：ガス消火設備（窒素ガス消火、低風速噴射ヘッドの検討）
免振装置
照明：保存管理に適切な照明機器
- ・工事における振動・粉塵等による影響の軽減対策の検討

○展示関連

- ・展示構成案の検討と有識者ヒアリング
- ・高松塚古墳関連資料の整理

【新施設における展示の基本的な考え方（イメージ）】



○利活用・運営方法

- ・新施設の利活用案の検討
- ・コンセッション方式導入可能性調査の実施

2. 令和7年度実施予定項目

○新施設建築関連

- ・建築基本・実施設計（国交省と一体的に実施）
- ・敷地調査
- ・国営飛鳥歴史公園館の更新に伴う現施設の除却による振動・騒音・粉塵が、
壁画・石室石材に与える影響を軽減するための対策を検討
仮設修理施設における振動・騒音測定の検討
壁画・石室石材への養生の検討
空調設備への防塵対策の検討

○展示関連

- ・展示・収蔵環境の基本設計
- ・文化庁エリアの展示についてはWGの設置等を含めて有識者に諮りながら、
コンテンツ等を検討

○利活用・運営方法

- ・令和6年度のコンセッション方式導入可能性調査の結果を踏まえた運営委託の
ための要件整理
- ・運営体制案の検討